

様式第2号(第7条関係)

会議録

会議の名称	川島町環境保全審議会及び廃棄物減量等推進審議会 第3回会議							
開催日時	平成26年3月11日(火) 午後1時30分～4時00分							
開催場所	川島町保健センター2階研修室							
議題	(1) 現況調査及び住民アンケート集計結果について (2) その他							
公開・非公開の別	公開							
非公開の理由 (非公開の場合のみ)								
出席者	委員	伊藤 穎章、 高橋 修、 安藤 吉信、 後藤 真太郎、 新村 三枝子、 奥井 義昭、 大森 秋郎、 小池 裕子、 関口 清吉、 大場 幹久、 猪鼻 静、 森近 由紀、 渡辺 英夫、 片岡 信行						
	事務局職員	町民生活課 宇津木 康明、 横川 雄一、 内野 修一、 谷澤 智博						
配布資料	資料1 川島町環境に関するアンケート調査概要・結果 資料2 川島町環境基本調査報告書							
審議会等の内容・概要								
1 開会 2 あいさつ 後藤会長 3 議事 (1) 現況調査及び住民アンケート集計結果について 資料1、川島町環境に関するアンケートの概要及び結果について後藤会長より説明し、内容について委員に意見を求めた。 • 住民アンケートの結果において、このようなことを行ってもらいたいという意見があるが、既に行っていることもある。町政の広報活動が足りないのでないか。 • 車の保有台数の増加に伴い、垣根が無くなっていく傾向にある。 • 高齢化が進む中で、交通は非常に重要な問題である。いかにきれいな空気を保ちつつ、交通の便を良くしていくかが重要である。								

- ・住民が緑や空気のきれいさに感心を持ち、満足しているのはすばらしいことである。アンケートの結果を町政に生かしてもらえばよい。
- ・合併浄化槽の推進などにより、町の水環境は良くなっていると感じる。人口を増やす政策を行ってもらいたい。
- ・学校でも授業で環境への取り組みを行っている。子どもは土の汚れを嫌うようである。子どもたちの意識を変えていく必要がある。

資料2、川島町環境基本調査報告書について後藤会長より説明。

【質疑等】

委員：町内純生産のグラフにおいて、平成21年度に第2次産業の値が大きく下がっている。これは何が原因なのか。

事務局：調査しておく。

委員：産業別就業人口のグラフにおいて、分類不能の割合が昔に比べ大きくなっているが、どういうことか。

事務局：国勢調査のデータを使用しており、無記入のため分類不能となっている。

委員：河川水質調査の値は基準値以下なのか。また、川の魚は食しても問題ないのか。

会長：水質は、全て環境基準に適合しているが、魚の体内の細菌を測定していないので、はつきりしたことが言えない。

委員：川島町環境保全条例に犬や猫の粪にふれているが、基礎調査の内容に入っていない。計画に盛り込む予定なのか。

事務局：飼い犬については、登録数を記載したい。猫については、現状ではデータはない。

(2)その他

委員：アンケートの結果を公表してもらいたいという意見があつたが。

事務局：アンケートの結果を集約し、ホームページで公表する。

今年度の会議はこれで終了だが、今回の意見を踏まえて、委託先の大字と事務局で最終的に取りまとめて作成する。

4 閉会

署名	安藤吉信	印
	猪鼻 静	印